

春から夏の新林の花

その1



ニオイタチツボスミレ

(スミレ科) 良い匂いがします



タチツボスミレ (スミレ科)

別名ニョイスミレ。葉の形が仏具の如意に似ています。

フタリシズカ →

(センリョウ科) 静御前が二人。



ヒトリシズカ (センリョウ科)

静御前が一人ずつ。



(写真・文 ; 新林みどりの会 黒澤 隆)

その2



ツクバキンモンソウ (シソ科)
キラソウの仲間です。



シャガ (アヤメ科) 林内の湿っ
たところに群生しています。



ムラサキマムシグサ (サトイモ科)
頭の部分 (仏炎苞) は紫色、茎はマ
ムシのまだら模様です。



カントウマムシグサ (サトイモ科)
仏炎苞は緑色です。

その3



ヤマユリ (ユリ科)
神奈川県の花です。



ウバユリ (ユリ科)
花の頃には葉(歯)が枯れることからこの名がつけました。



← オカトラノオ
(サクラソウ科)



↑ ヤマホタルブクロ
(キキョウ科)

その4



マルバウツギ (ユキノシタ科)



ムラサキシキブ (クマツヅラ科)
花も実も紫色です。



ヒサカキ (ツバキ科)

白い花をびっしりつけます。花は都市ガスに似たにおいがあります。



ハコネウツギ (スイカズラ科)
花は白から赤に変わります。



オオツクバネウツギ
(スイカズラ科) 早春に黄白色の花2個ずつつけます。



コゴメウツギ (バラ科)

直径4mmの小さな花を多数つけます。